

コメ兵ホールディングスグループが取り組むESG経営
『リレーユースと人的資本』

2022年3月2日

株式会社コメ兵ホールディングス

【本日の内容】

- ▶ コメ兵ホールディングスの会社概要
- ▶ コメ兵ホールディングスが取り組む『リレーユース』
- ▶ コメ兵ホールディングスが取り組む『人的資本』
- ▶ コメ兵ホールディングスの『ガバナンス』

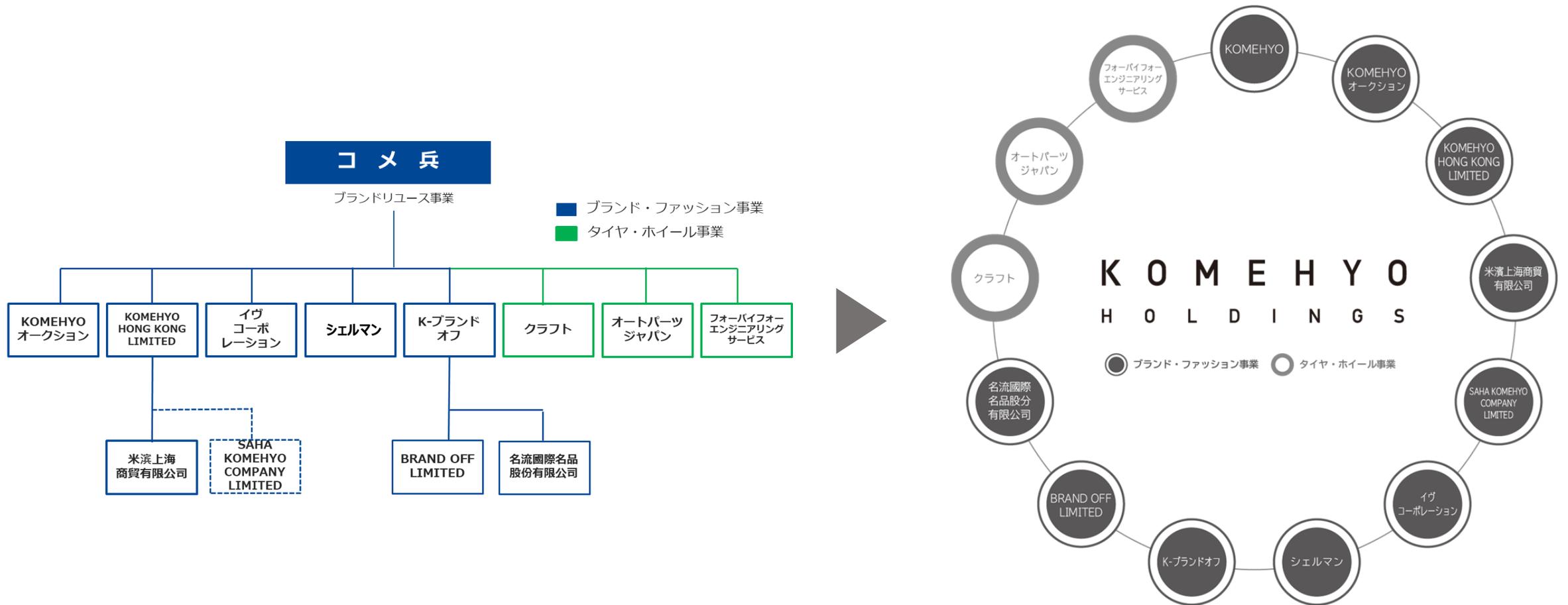
【本日の内容】

- ▶ **コメ兵ホールディングスの会社概要**
- ▶ コメ兵ホールディングスが取り組む『リレーユース』
- ▶ コメ兵ホールディングスが取り組む『人的資本』
- ▶ コメ兵ホールディングスの『ガバナンス』

会社概要

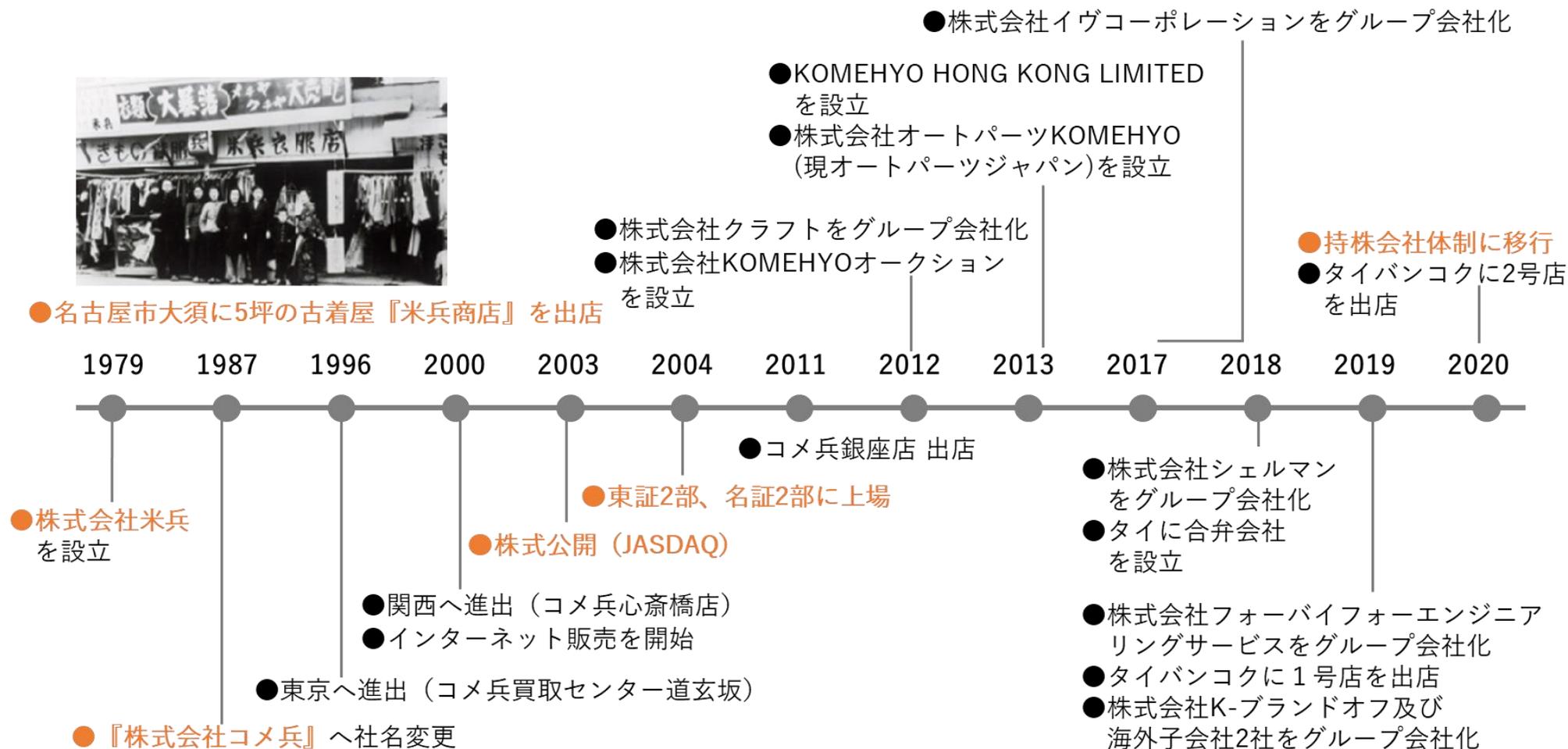
社 名	株式会社 コメ兵ホールディングス
設 立	1979（昭和54）年5月 ※2020年10月持株会社体制に移行
本 社	名古屋市中区大須3丁目25番31号
代 表 者	代表取締役社長 石原 卓児
資 本 金	1,803百万円
社 員 数	連結：924名 単体：16名（'21.12現在）
事業内容	グループ全体の経営企画・管理・マーケティング及び不動産事業
決 算 期	3月
株 式	東証・名証二部（証券コード:2780 単元:100株）

2020年10月にホールディングス化



各社が自律し、各事業の現場に近いところで経営判断が行える組織体制へ
ホールディングスは各事業会社を支え、成長をサポートする存在

コメ兵ホールディングスは今年75周年を迎えます



グループのミッション

コメ兵ホールディングスグループは、持続可能な循環型社会に必要な存在として、「人」「モノ」「社会」それぞれのつながりの中で中継点の役割を果たし、“良質”・“価値”を未来へつなげていく取り組みを行ってまいります。

存在意義
MISSION

つくる人に敬意をもち、つなぐ人に感謝し、手にする人に感動を提供することで、循環型社会の共感をつくっていきます。

目指す姿
VISION

リレーユースを「思想」から「文化」にする。

価値観
VALUE

聴くことで受けとめる

話すことを大切にする

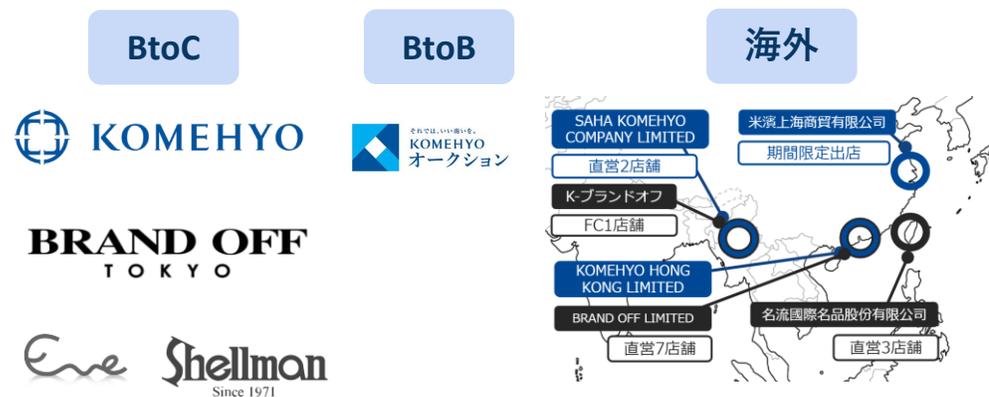
自ら動く

変えることを恐れない

中期戦略

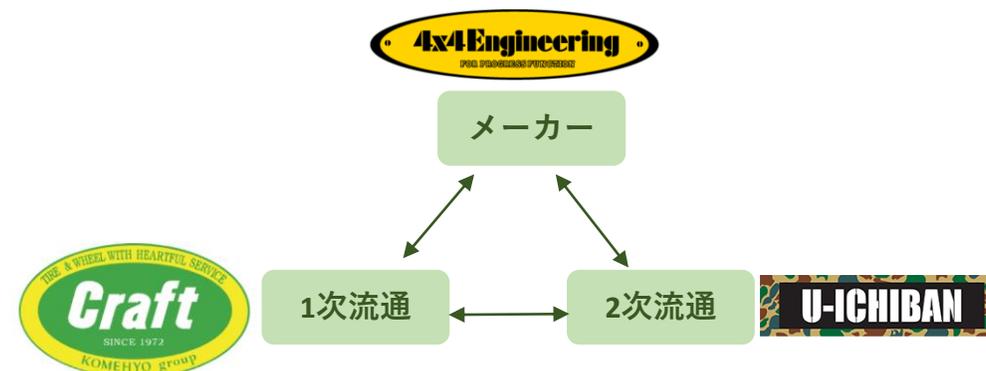
ブランド・ファッション事業

1. 個人買取の強化と小売り強化
2. 法人事業の強化
3. 海外展開とリユーステックの強化

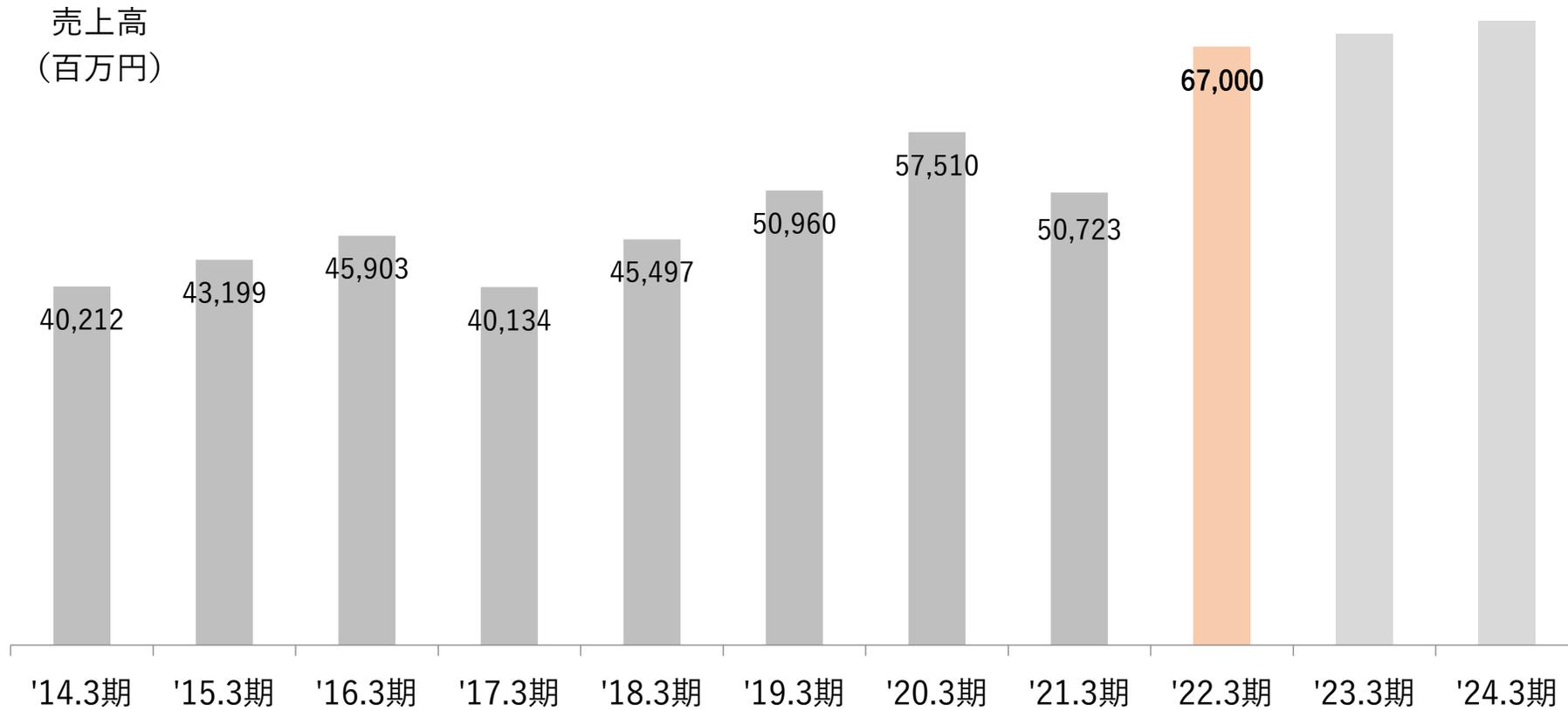


タイヤ・ホイール事業

1. 収益性の安定と強化
2. 新製品の強化

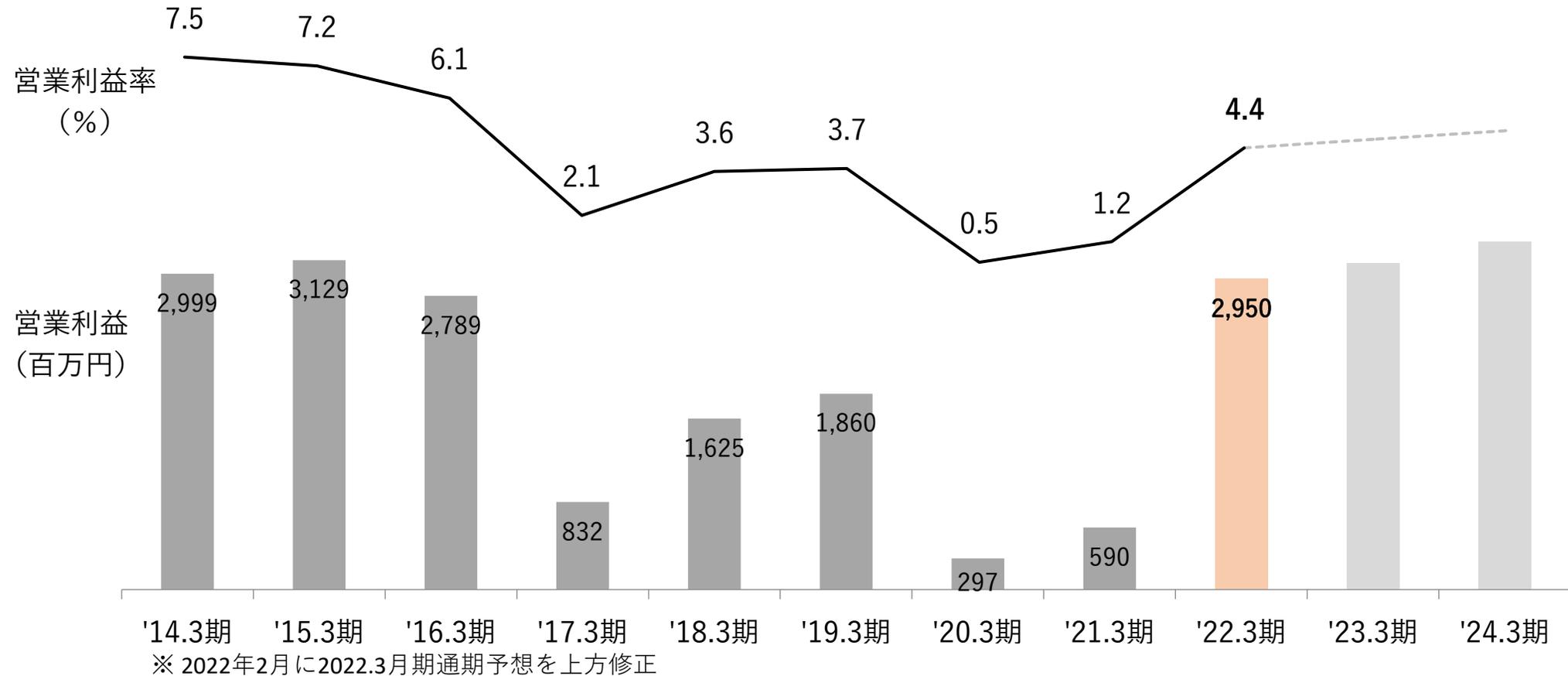


売上高：今期着地は中期計画を1年前倒しの見込み

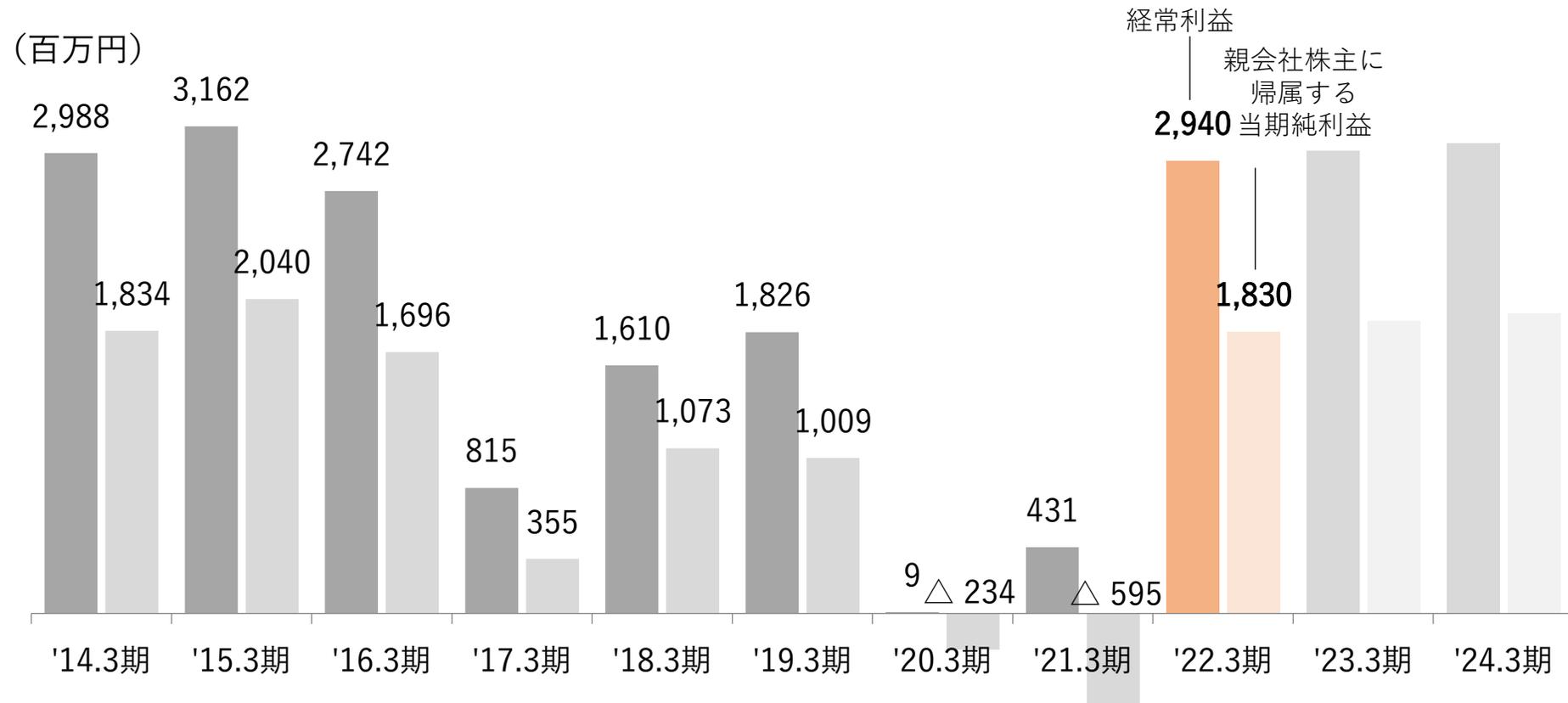


※ 2022年2月に2022.3月期通期予想を上方修正

営業利益：今期着地は中期計画を2年前倒しの見込み



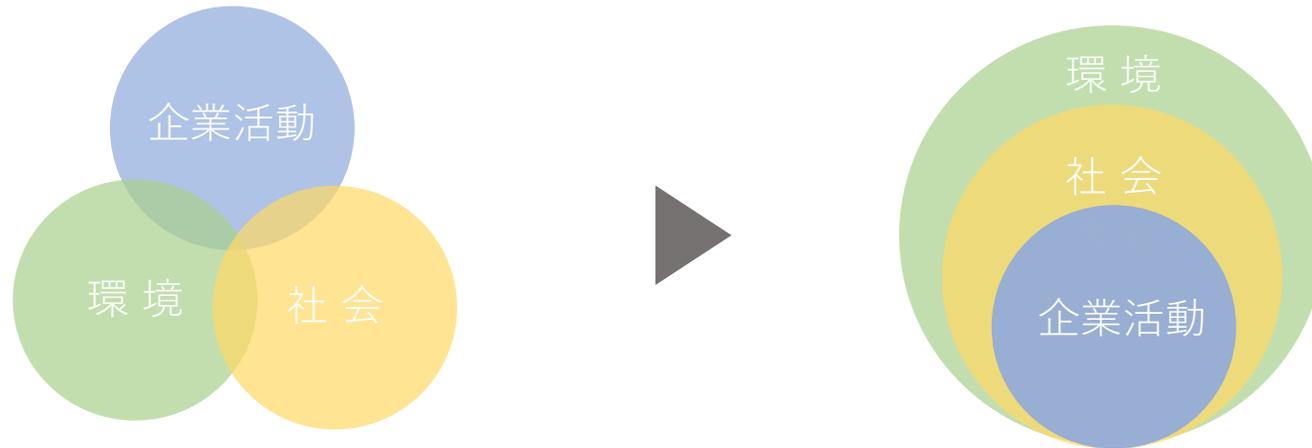
経常利益・当期純利益：今期着地は中期計画を2年前倒しの見込み



【本日の内容】

- ▶ コメ兵ホールディングスの会社概要
- ▶ **コメ兵ホールディングスが取り組む『リレーユース』**
- ▶ コメ兵ホールディングスが取り組む『人的資本』
- ▶ コメ兵ホールディングスの『ガバナンス』

持続可能な社会に向けたニーズの変化



持続可能な社会の実現に向けて、「環境」「社会」「企業」の関係性は、「社会は環境に依存し、企業は社会に依存する」といった考え方に変化しています。そのため、環境が変化すれば、それに適応すべく社会も、企業も変化が必要になります。

75年続けている当社グループのビジネスは、これまでは社会に絶対に必要なものではありませんでしたが、環境の変化により、社会に必要な存在へとニーズが変化していると考えています。

当社グループの成長は、“環境”にも“社会”にも好循環をもたらす

当社グループにとって、サステナビリティとはビジネスモデルそのものです。

今でも大量の商品が作られ、消費され、廃棄されており、それにより環境に大きな影響を与えています。

「つくる責任 つかう責任」は現代の消費社会において、必ず解決しなくてはいけない大きな課題であり、その解決そのものをビジネスとしているのが当社グループです。

私たちはビジネスを通じて「持続可能なバリューチェーン」を構築すべく、様々な取り組みを進めております。できるだけ長く、たくさんのモノの価値が循環する社会を共創していくことを目指しています。





成長に向けた取り組みのキーワード
『リレーユース』

リユースという言葉が使用される前より、
モノの循環を表す言葉として「リレーユース」を提唱し、
その思想が人々の身近なものとなる取り組みを続けています。



リレーユースのロゴデザイン

「リレーユース」の提唱

コメ兵の中古品売買という業態は一般的に「リサイクル流通業」、「中古品販売業」と表現されていた。1995（平成7）年に秀郎社長は、それらに変わる呼称として「リレーユース」という言葉を提唱する。「リレーユースとは単なるリサイクルではなく「所有」と「レンタル」の中間を意味する。「永久所有」ではない「一時所有」であり、その中間基地としてコメ兵が存在する」とコメ兵のビジネススキームを表現した。

「リレー」は伝承、「ユース」は使用するといった意味で、ひとつの商品が人から人へ繋がれ、有効活用されるという考え方の提唱である。この提唱は「中古品」のマイナスイメージをプラス方向に向ける提唱でもあった。

(株式会社コメ兵 70年史より)

リユースから、リレーユースへ その「価値」を 私たちは継いでいく。

メンテナンス、リメイク、編集、人とのつながり。

『リレーユース』は、リユースでありながら単にモノの価値をダウンサイクルするのではなく、価値を高めるアップサイクルで伝承していくことが目的です。

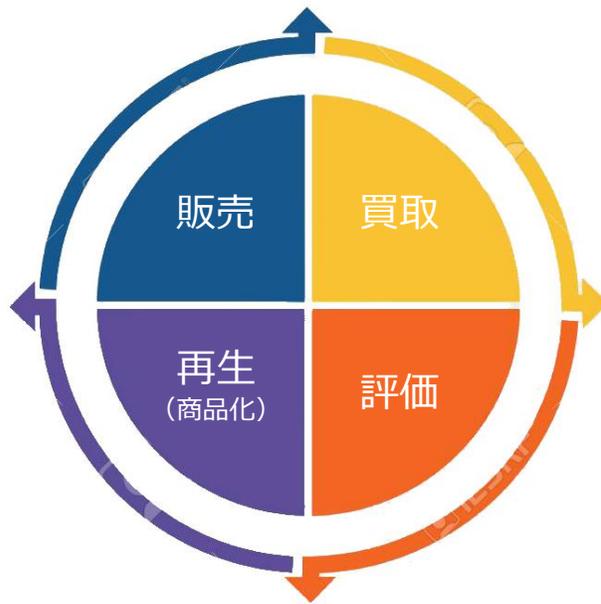
持続可能な未来社会に向けた価値観が広がる中、生産者や使用者をリスペクトし、その「想い」をリレーしていくことで、サステナブルな社会形成に貢献していきます。



グループのマテリアリティ（重要課題）

目指す姿「リユースを思想から文化にする」を実現する価値の循環

Value Chain for RELAY USE”



リユースの成長

【買取】 リユースを社会の当たり前にする

【販売】 リユース市場のさらなる発展

価値を高める取り組み

【評価】 公正なサステナビリティの追求

【再生】 独自の技術力で価値を再生する

Value Chain for RELAY USE

リユース市場のさらなる発展

新品、未使用品、リユース品といったものの多様性を活かし、良質なアイテムを提案し、リユース市場の発展に貢献

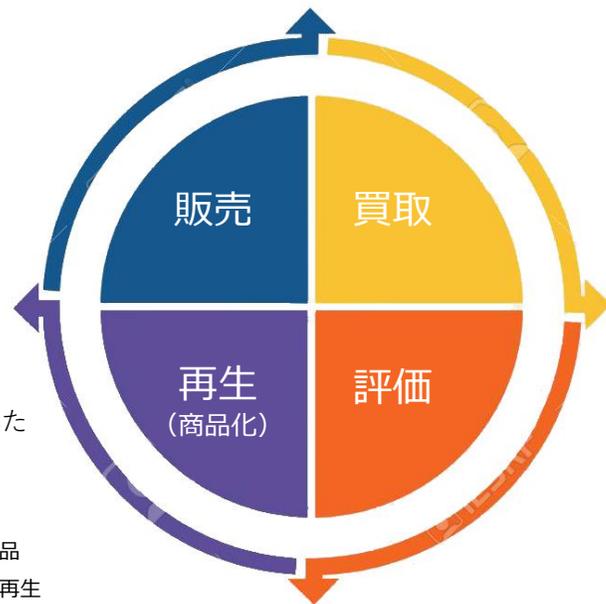
- リアル&デジタルコミュニケーションによるお客様との信頼関係構築
- BtoBオークションを通じたによるリユース市場の活性化
- Only Oneの価値をご提供
- 海外へのリユース文化伝承、高品質な中古品を世界へ
- 環境配慮型ショッパーバッグの導入
- リユース顧客層の拡大



独自の技術力で価値を再生する

モノ本来の価値を理解し、社内で永年蓄積されたノウハウを活かして新しい価値を創り出す。

- 個性的で魅力のある商品の製造、発見
- ネクストヴィンテージ、ヴィンテージ、アンティーク商品
- ファッションアイテム、バッグ類、時計、宝石の修理/再生
- 「世界の良質をつなぐ」商品編集
- 商品知識の向上
- 国内の商品品質基準を海外でも実現



リユースを社会の当たり前にする

「使わない→売る」を当たり前にする。大量生産・大量消費の社会構造から脱却するための教育推進と機会創出。

- モノをつなぐことが新たな価値を生み、幸せにつながる取り組み
- KAITORI GOの推進強化（異業種協業による機会創出）
- エンゲージメント強化
- 海外へのリユース文化伝承。リユースを日本から世界へ
- 気軽に、安心して買取りが利用できる環境づくり
- 関係省庁、関連団体との連携



公正なサステナビリティの追求

コメ兵ホールディングスグループの「価値を見極める技術」で、誰もが安心できる健全なリユース市場を創る。

- リユーステックの推進（AIによる真贋、型番判定）
- リユース市場からの偽物排除
- パートナーとの連携（取引先様、FCオーナー様、オークション会員様）
- 誠実な買取価格と販売価格を実現するための努力
- 押し買い等、リユースに関する被害を生まないための啓蒙活動
- 独自カリキュラムによる目利き人材の育成



グループを成長させる具体的な取り組み

リユース市場のさらなる発展



海外では上海、香港、台湾、タイへ進出。日本のリユース文化を海外に広げることで、更なるビジネス拡大につなげています。また、法人向けオークションは、自社の出品比率が約3割。会員様のビジネスにつながる取引の場をご提供することで、市場の活性化、会員様のビジネス成長、グループの成長に寄与しています

リユースを社会の当たり前にする



中期経営計画では、KOMEHYOが3年間で買取専門店を100店舗出店、K-ブランドオフがFCでの3年間100店舗出店を目指しています。また、イベントで買取を行う「KAITORI GO」も精力的に行っています。「近くの」「いつもの」場所で、買取未経験のお客様との接点を広げています。

独自の技術力で価値を再生する



コメ兵の商品センターでは、買取した商品を1点1点チェックします。ジュエリーの新品仕上げや時計のオーバーホールといったメンテナンスに加え、石のゆるみがないか1石1石確認しています。中古品だからこそ品質にこだわり、付加価値の向上につなげています。

公正なサステナビリティの追求



コピー品の排除は、ブランドの価値を守り、健全なリユース市場の形成に必要な不可欠です。また、弊社のAI真贋は型番の判定もでき、日々の買取業務において、よりヒューマンタッチを重視した対応ができます。鑑定士育成の時間短縮にもつながり、新規出店の加速やFCオーナーのサポートに貢献しています。

価値あるものを人から人へ

コメ兵が小売りを大切にしている理由は、お客様からお譲りいただいたお品物を、必要としている別のお客様へ「直接」お届けすることができるからです。必要とする人に渡ってこそ、リユースの良さである“価値の循環”が実現すると考えています。

コメ兵が取り扱う商品の多くは、使わないからと言って捨てるモノではありません。大切なものをお譲りいただくわれわれは、できる限り破棄することなく、責任を持って次につなげる役割を果たしてまいります。

個人買取品のうち小売販売する割合（コメ兵）



JEWELRY



WATCH



BAG



FASHION

40-60%

- 残りの40-60%
- ・法人販売（金は素材として）
 - ・教材として所有

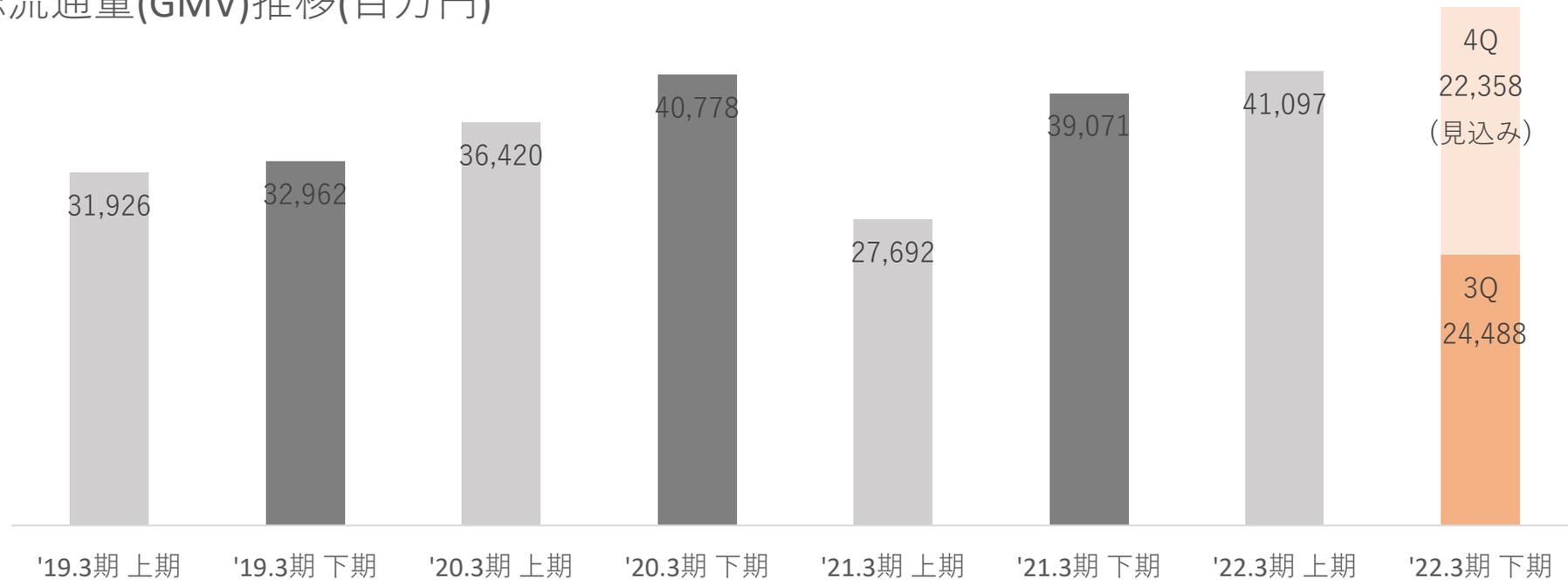
92%

- 残りの8%
- ・法人販売
 - ・瑕疵の状況により破棄

総流通量（GMV）（連結）

当社のビジネス規模を示すGMVが、リレーユースの推進を示す指標です。
GMVの成長は、事業の成長と収益性の向上につながります。

総流通量(GMV)推移(百万円)



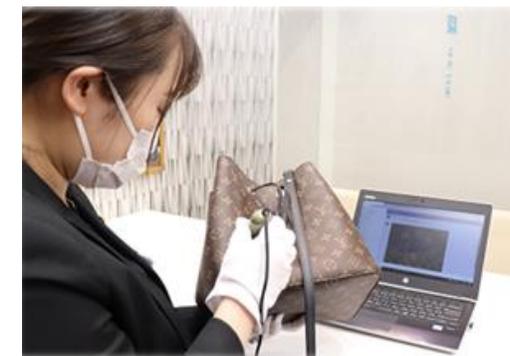
GMVは、連結売上高をベースにグループ会社のオークションでの売上高や出来高等を加算減算して簡便的に算出しております。

【本日の内容】

- ▶ コメ兵ホールディングスの会社概要
- ▶ コメ兵ホールディングスが取り組む『リレーユース』
- ▶ **コメ兵ホールディングスが取り組む『人的資本』**
- ▶ コメ兵ホールディングスの『ガバナンス』

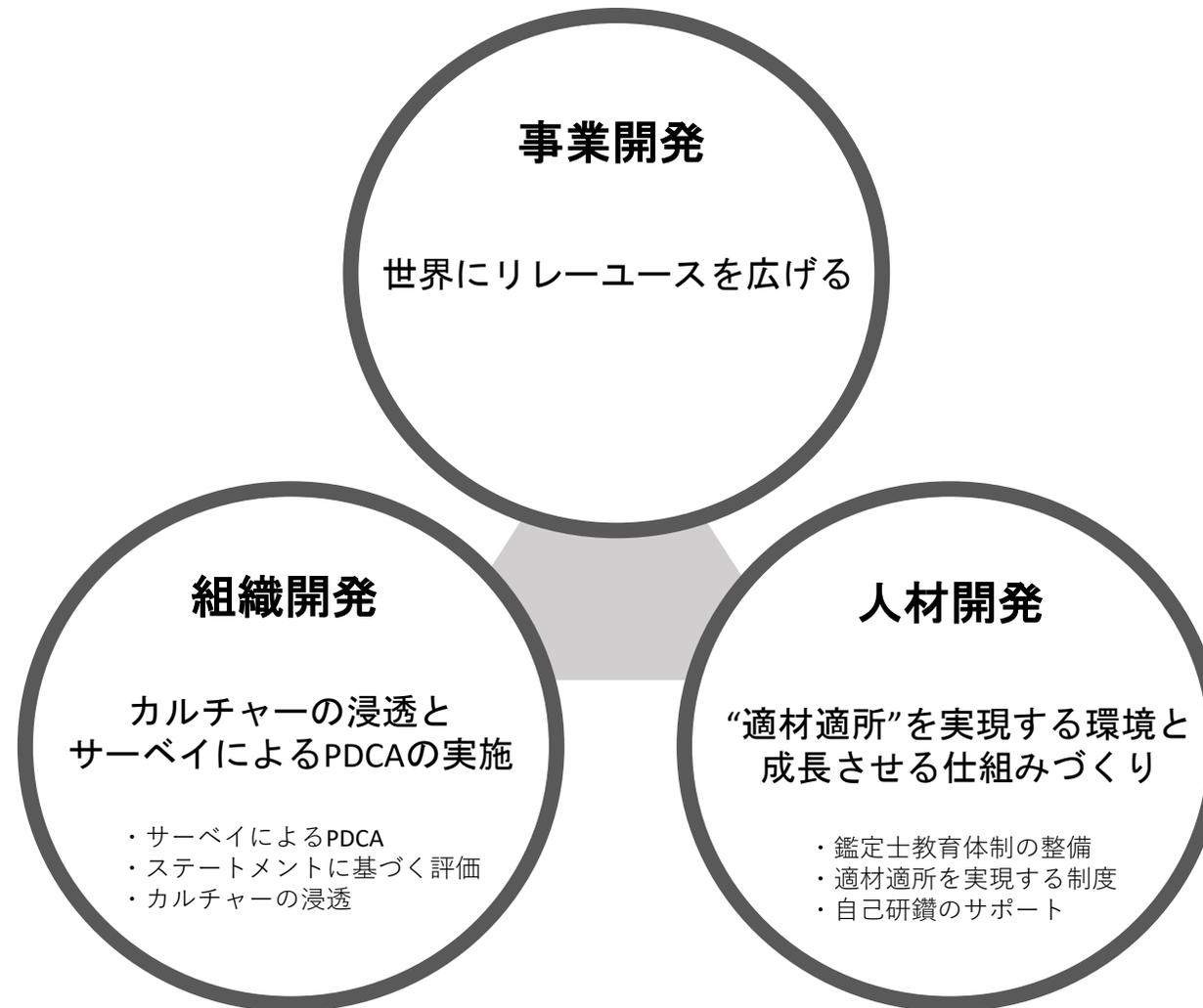
当社グループの人的資本経営

リレーユースのビジネスモデルは、人とモノとのつながりが重要です。そのため、人が果たす役割は重要かつ多岐にわたります。知識、スキル、専門性、スピード、顧客とのつながりが事業の成長に大きく影響するため、人材の育成と定着は、経営において大変重要な取り組みです。



継続的な人材開発とその人材が活躍できる組織開発

事業に直結する“組織開発”と“人材開発”を推進することで、効果的な人的資本経営を実現する



組織開発（コメ兵）：カルチャーの浸透① コメ兵らしさの言語化

価値観を体現する9つのクレドを策定

∞ CREDO ∞

このクレドは、「株式会社 コメ兵」全員の仕事をする上での、行動基準となるものです。私たちはこれに基づき判断・行動します。

1. 出合いを大切に お客様の帰り道を笑顔に

お客様に話しかけて、次に話をたくさん聞いて、一生懸命お客様を知りましょう。お客様は、私たちに期待しています。

「KOMEHYOに来て良かった!!」と帰り道に思っただけのように、私たちに今できる最高の思いやりとおもてなしをしましょう。そして、お客様と一緒にその時間を楽しみましょう。

2. 一品入魂の姿勢を大切に

① 品質へのこだわり

KOMEHYOが積み重ねてきた豊富な知識と技術で1点1点の商品に向き合います。

② 誠実な価格

誠実な買取価格と販売価格を実現するための努力を惜しみません。

③ ワクワクする品揃え

商品化のスピードを高め、お客様がほしい時にほしい物が見つかるお店づくりを目指します。

3. 全員チームKOMEHYO

「立場」や「役割」、「働く場所」や「エリア」を超えて全員に敬意を持ち、認め合い、一丸となる事で最高のパフォーマンスと成果を追求していきます。

4. やってみよう やらせてみよう

失敗してもいいんです。まずは、自分で考え、周りの仲間に提案してみましょ。周りの仲間は、背中を押し、応援しましょう。そして、結果に関わらず挑戦する姿勢を大切にします。

5. 「5秒」で好印象

第一印象は5秒で決まります。私たちは、全ての人に明るく笑顔で挨拶をします。また、私たちは清潔感のある身だしなみを心がけます。

6. 清する者は万事を制す

掃除、整理整頓は自分から。その行動が快適・安全・効率・ミス軽減につながります。

7. 迷ったら「まじめ」を選ぶ

一人一人がKOMEHYOの代表です。仕事でもそうでないときも、「まじめ」に行動しルールを守ります。「まじめ」とは、真心があり、うそをつかず誠実であることです。

8. 数字を楽しむ

毎日の仕事を数字目標に置き換えて楽しみましょ。今日は〇人接客! 〇点買取! 〇箱検品! 〇個出品! あなたの目標達成が「KOMEHYOの利益」につながっています。

9. 感謝のリレー

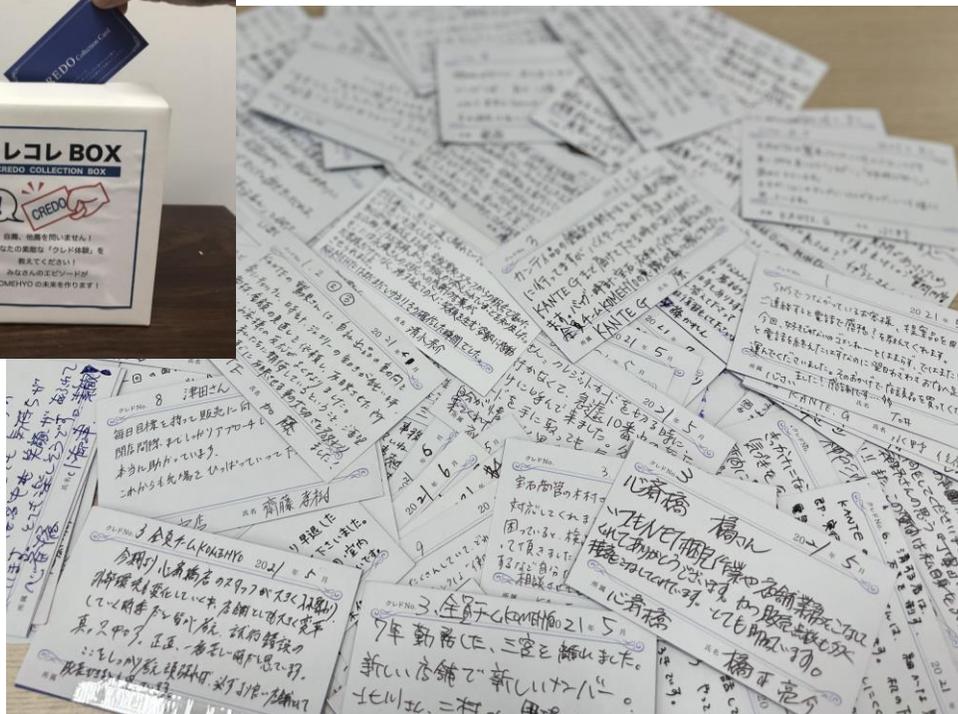
今までKOMEHYOを支えていただいた方への感謝を忘れず、その気持ちを未来へつなげていきます。

組織開発（コメ兵）：カルチャーの浸透② クレドの浸透活動

クレドに沿った行動を賞賛するクレドカード



今期は1月末時点で3,000件以上の提出



クレドを体現したスタッフを毎年表彰



人材開発①：自律型人材への育成とその後のキャリアビジョンの設定

進化

業務レベルの高い人材

- ・ 専門業務に必要な能力
販売力、バイヤー、商品知識、教育、マーケティング、法務、労務、会計
- ・ マネジメントスキル
- ・ 周囲との協力

ビジョンに共感する人材

- ・ 価値観を大切にする
- ・ コミュニケーションスキル
- ・ 失敗を次に活かす
- ・ 周囲への共感

経営人材

- ・ ビジョナリー：創造性
- ・ 戦略的意思決定
- ・ 他者、他社、自社に与える影響力
- ・ 強い意志
- ・ 頭の一部は常に冷めている

自律型人材

- ・ 自ら行動できる
- ・ 決断力
- ・ 周囲からの期待
- ・ 責任を持つ
- ・ 自分らしさ

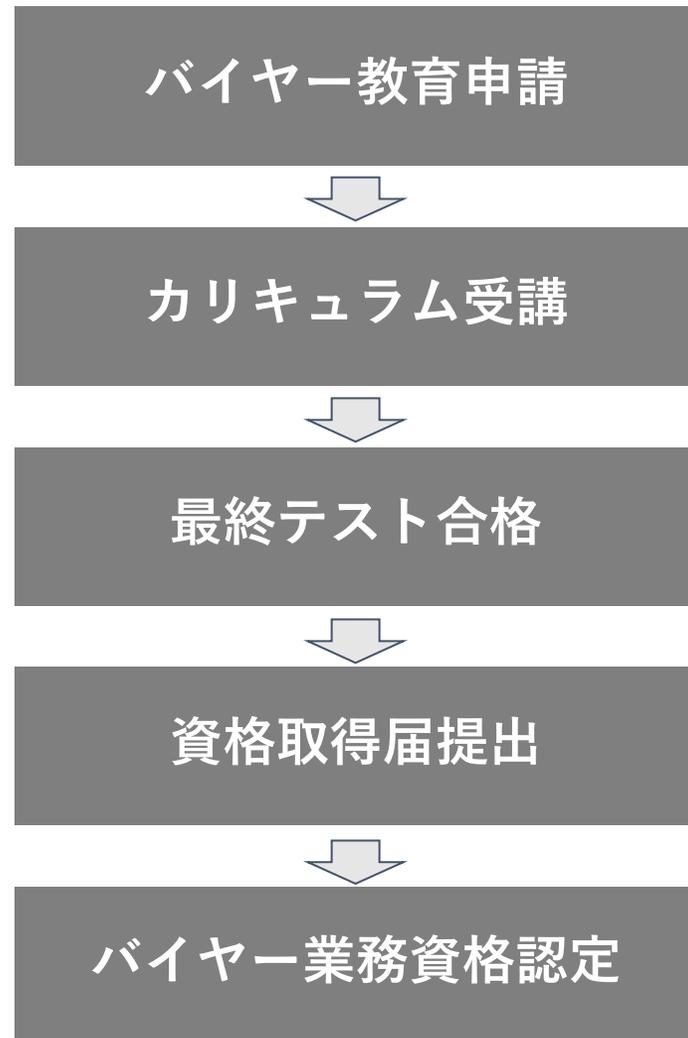
スペシャルスキル人材

- ・ 高い専門知識
- ・ 自己研鑽
- ・ 外部リソースの活用
- ・ 課題発見、課題解決能力
- ・ 次世代育成

視座の高さ = パフォーマンスとエンゲージメント

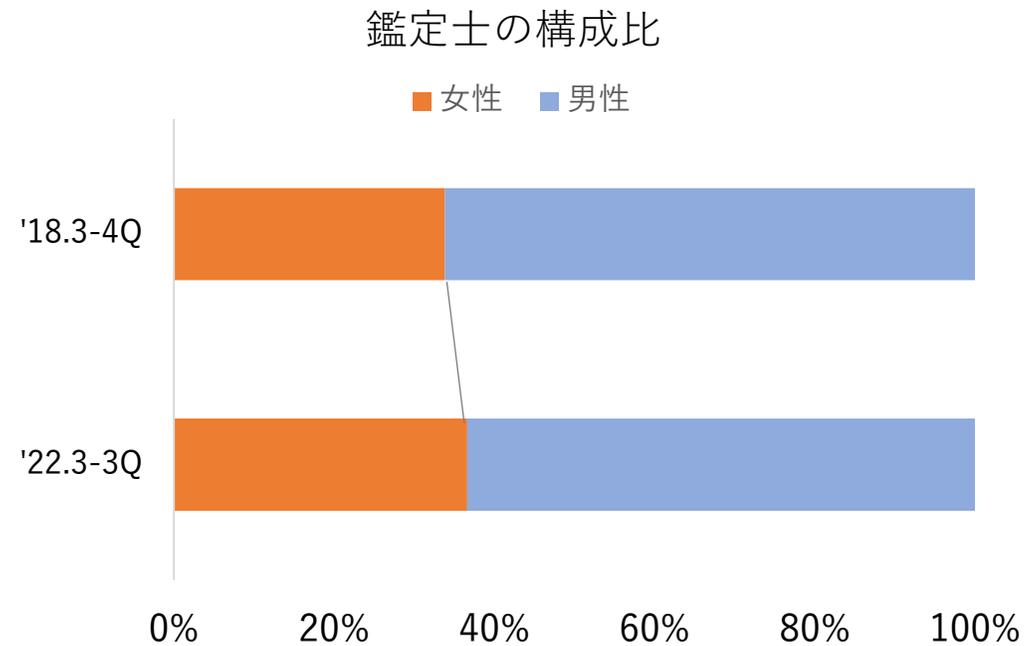
深化

人材開発②：コメ兵の鑑定士の教育体制



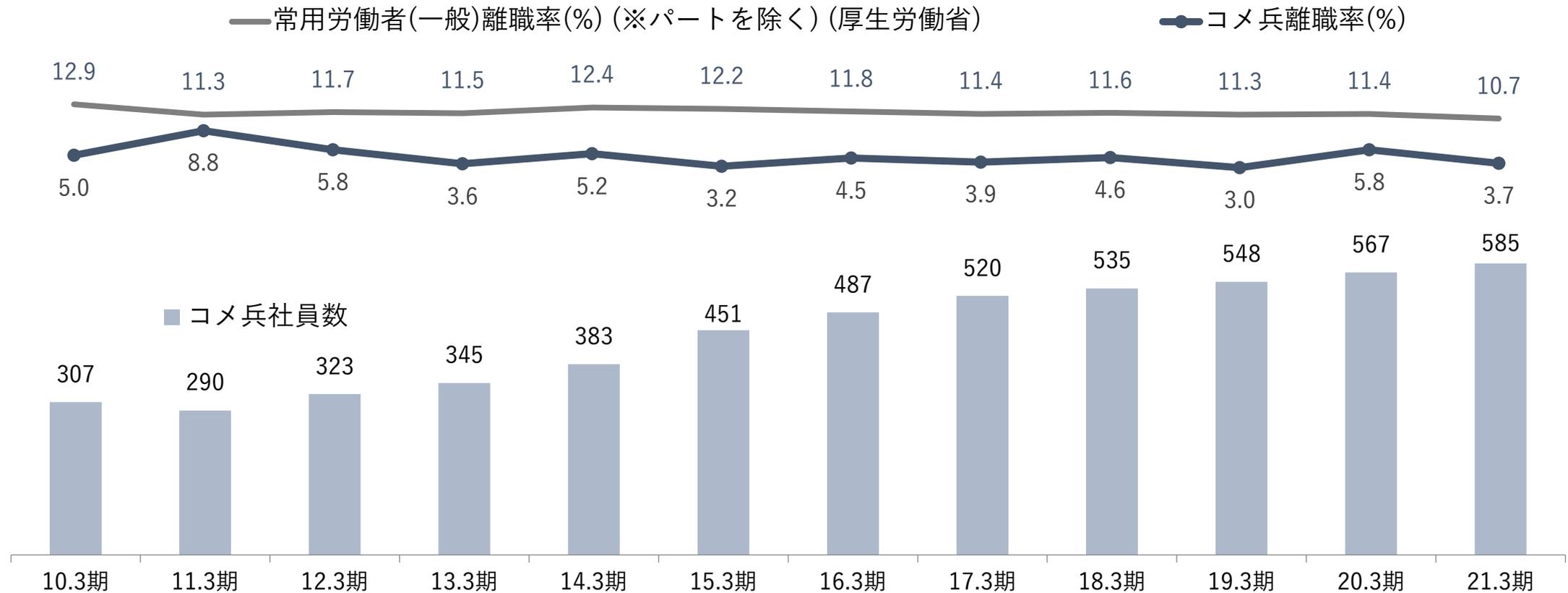
人材開発③：コメ兵における女性の活躍

教育の体系化により女性の鑑定士が年々増加。
国内73店舗のうち、女性の店長・副店長は14店舗に拡大。



人材定着度（コメ兵）

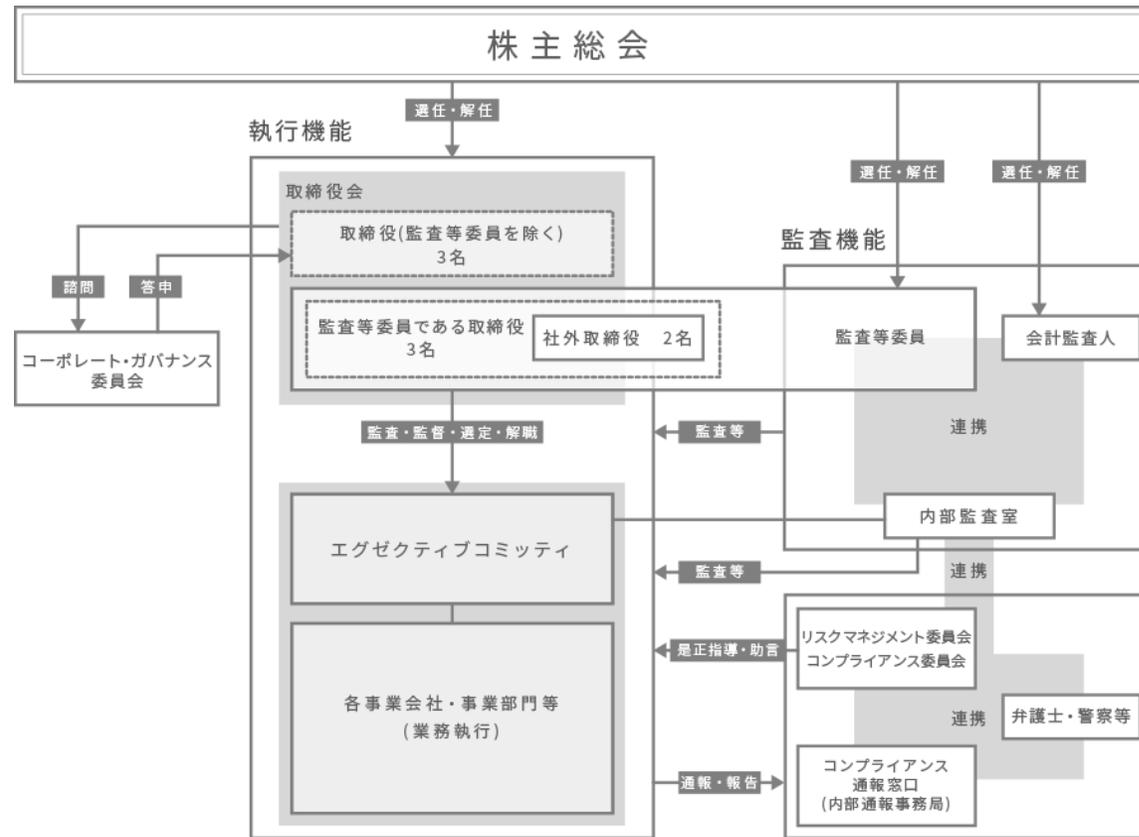
社員の離職率は低位で推移しており、人材の定着度が高い。
ノウハウの蓄積ができ、安定的な成長の礎に。



【本日の内容】

- ▶ コメ兵ホールディングスの会社概要
- ▶ コメ兵ホールディングスが取り組む『リレーユース』
- ▶ コメ兵ホールディングスが取り組む『人的資本』
- ▶ **コメ兵ホールディングスのガバナンス**

ガバナンス体制



当社グループは、株主様はもちろんのこと、従業員、顧客、取引先、債権者、地域社会等大きな影響や利害関係を持つ方々の利益を尊重した経営に徹するべく、経営の効率性、業績の向上及びコンプライアンスの重視を主体としたコーポレート・ガバナンスの強化を経営上の最重要課題として取り組んでおります。

役員体制



氏名	石原 卓児	沢田 登志雄	山内 祐也	鳥田 一利	村瀬 桃子	皆見 幸
役職	代表取締役社長	常務取締役	取締役	取締役監査等委員	取締役監査等委員	取締役監査等委員
社外取締役					○	○
独立性					○	○
主なキャリア	初代新宿店長 マーケティング責任者 リユース業協会副会長	営業本部長 商品統括部門責任者 AACD理事	マーケティング部門 経営企画部門責任者 事業開発部門責任者	経営企画部門責任者 内部監査部門責任者 常勤取締役	弁護士 複数社の社外取締役歴任	公認会計士 複数社の監査役歴任

IRお問い合わせ先

I R ・ 広 報 部

TEL : 052-249-5366
Email : ir@komehyo.co.jp

本資料の情報は、現在入手可能な情報から株式会社コメ兵ホールディングスの経営者の判断に基づいて作成されております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみ全面的に依拠することはお控え下さいますようお願いいたします。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。

投資に関する決定は、皆様ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。